

総合型選抜（第2次選考）

小論文②（美術）

【出題の意図 および 評価の観点】

問題 1

◎出題の意図

平成 28 年 12 月に示された中央教育審議会答申では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を作るという目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む〈社会に開かれた教育課程〉」の実現を目指すことが示された。これをうけ本設問では、社会に対する関心や広い視野をどの程度有しているか、美術の役割と可能性についてどの程度深く考察できる力を有するかを見る。

●評価の観点

- ・ 出題の意図を理解しているか。
- ・ 社会の動向や美術の役割に対して関心をもっているか。
- ・ 独自の発想力を有し、それを論理的に説明できているか。

問題 2

◎出題の意図

平成 29 年に告示された中学校学習指導要領美術編の改訂の趣旨において、創造することの楽しさを感じさせ、造形的な創造活動の基礎的能力を育ててきた成果と、生活を美しく豊かにする造形や美術の動き、美術文化の実感的な理解を深めさせる点について課題が示された。そこで、本設問では、小学校で図画工作を学んできた子どもたちが、中学生となって初めて美術との出会う場面を想定して、生徒と美術との出会いの場について、授業方法の工夫や指導の手立てなど、具体例をもとに自分の考えを論じることができるかを見る。

●評価の観点

- ・ 出題の意図を理解しているか。
- ・ 自分の考えを論理的に説明できているか。